KASHIBA

広報かしば
10
2019
10.21
No.628

特集
地域と共にある学校

今月の表紙

今月の特集のテーマは「地域と共にある学校」です。子どもたちを取り巻く環境が複雑化・多様化する中、地域ぐるみで子どもたちを支え、育てる「コミュニティ・スクール」についてスポットを当てます。

ひとの動き

―９月末日現在―

人口	79,161人（前月比+22人）
男	37,861人（前月比+18人）
女	41,300人（前月比+4人）
世帯数	31,351世帯（前月比+31世帯）

香芝検定

certificate examination for KASHIBA

昭和３１年に五位堂村、下田村、二上村、志都美村が合併して誕生した当時の香芝町の町議会議員の定数は何人だったでしょうか。

① ３０人

② ４０人

③ ５０人

④ ６０人

（答えは１３ページにあります）

CONTENTS

もくじ

03 ｅｃｏお知らせ隊
１１月はエコドライブ推進月間

04 特集
地域と共にある学校

07 イキイキ！香芝っ子！
第５回中学生議会　未来を担う若者たちの提言

10 住まう香芝　ｖｏｌ．６０
ちいさな命に待ったなし！児童虐待を防ぐ！

12 ひと・まち・かしば
○戦没者追悼式
○国際理解セミナー
○敬老会
○「香芝市総合防災マップ」協働発行に関する協定
○市民公開講座　子育て・親育て・自分育てⅡ

13 市民ペンリレー／パパッと簡単クッキング

14 今昔アルバム

市ホームページやＦａｃｅｂｏｏｋでも市の情報を発信しています。

市公式ホームページ

URL http://www.city.kashiba.lg.jp/

市公式Ｆａｃｅｂｏｏｋ

URL https://www.facebook.com/香芝市役所-329720634057435/

＊広報かしばも市ホームページでご覧になれます。

「録音ボランティア山びこ」による音訳広報があります。
詳しくは社会福祉協議会ボランティアセンターへ。
☎７６－７１７９

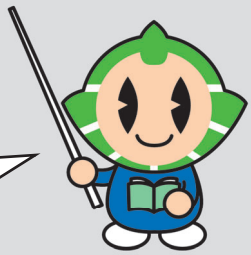
次回発行は、お知らせ版１１月５日（火）広報かしば１１月２１日（木）

１１月はエコドライブ推進月間

教えてカッシー！ エコドライブってなに？

エコドライブとは、環境負荷の軽減に配慮した自動車使用のことをいい、燃料消費量やＣＯ₂排出量を減らし、地球温暖化防止につなげる“運転技術”や“心がけ”のことなんだ！

警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省で構成する「エコドライブ普及連絡会」では、１１月を『エコドライブ推進月間』と位置付けているよ。
「エコドライブ普及連絡会」が推奨する「エコドライブ１０のすすめ」があるから一緒に確認してみよう！



エコドライブ１０のすすめ

1 ふんわりアクセル「eスタート」

発進するときは、穏やかにアクセルを踏んで発進しましょう。
（最初の５秒で、時速２０km 程度が目安です。）
＊「e スタート」とは、燃費を向上させる「やさしい発進」の名称です。

2 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転

走行中は、車間距離にゆとりをもつとともに、交通状況に応じて速度変化の少ない運転を心がけましょう。

3 減速時は早めにアクセルを離そう

信号が変わるなど停止することがわかったら、早めにアクセルから足を離しましょう。

4 エアコンの使用は適切に

車のエアコン (A/C) は車内を冷却・除湿する機能です。暖房のみ必要なときは、エアコンスイッチをオフにしましょう。また、冷房が必要なときは、車内を冷やしすぎないようにしましょう。

5 ムダなアイドリングはやめよう

待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐停車の際は、アイドリングはやめましょう。

6 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう

出かける前に、渋滞・交通規制などの道路交通情報などを確認するとともに行き先やルートをあらかじめ確認し、時間に余裕をもって出発しましょう。

7 タイヤの空気圧から始める点検・整備

タイヤの空気圧が適正値より不足すると燃費が悪化します。空気圧チェックを習慣づけましょう。また、エンジンオイル・オイルフィルタなどの定期的な交換によっても燃費が改善します。

8 不要な荷物はおろそう

車の燃費は、荷物の重さに大きく影響されるので、運ぶ必要のない荷物は車からおろしましょう。

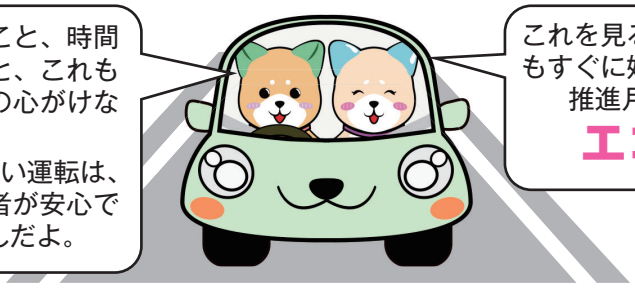
9 走行の妨げとなる駐車はやめよう

迷惑駐車はやめましょう。迷惑駐車は、渋滞をもたらすこともあり、ほかの車の燃費を悪化させるばかりか、交通事故の原因になります。

10 自分の燃費を把握しよう

自分の車の燃費を把握することを習慣にしましょう。日々の燃費を把握すると、自分のエコドライブ効果が実感できます。

心にゆとりをもって走ること、時間にゆとりをもって走ること、これもまた大切なエコドライブの心がけなんだね！
そして、燃料消費量が少ない運転は、財布にもやさしく、同乗者が安心できる安全な運転でもあるんだよ。



これを見ると、エコドライブは誰にでもすぐに始めることができる行動だね。
推進月間を機にはじめてみよう
エコドライブ！

◆**問合先**　市役所市民衛生課
☎４４－３３０６

特集　地域と共にある学校

◆問合先　市役所学校教育課　☎44－3334

地域と共に子どもを育むまち

少子高齢化が進む現在、地域社会の担い手の減少や単独世帯の増加、子育て家庭の孤立化などにより、地域社会のつながりが弱くなってきています。

一方で、子どもたちは生活体験や社会経験が乏しく、教職員は複雑化・多様化した学校の課題に向き合い、多忙を極めています。

本市では、このような環境変化の中、学校・保護者・地域社会が一体となって、より良い教育の実現に向けて子どもたちを育む「地域と共にある学校」を目指して、市立小中学校14校が、学校運営協議会を設置した「コミュニティ・スクール」となるように取組を進めています。

現在は、平成29年にコミュニティ・スクールとなった二上小学校に加えて、下田小学校、関屋小学校、香芝中学校、香芝西中学校がコミュニティ・スクールとなり、他校においても、これまでの地域とのつながりを強めつつ、設置に向けて準備を進めています。

今月はコミュニティ・スクールの概要と必要性、そして地域と学校がどのように関わっているかを紹介します。

コミュニティ・スクールってどんな学校？

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者、地域住民が構成員となる「学校運営協議会」を設置した学校のことです。

この学校運営協議会は、学校運営や運営に必要な支援に関して協議するための機関であり、学校・保護者・地域のかたがそれぞれ当事者意識をもって、地域で子どもたちをどのように育てていくかなどについて考え合って取り組むための仕組みです。

コミュニティ・スクールとなることによって、学校と地域が学校運営に関わって共通のビジョンをもち、組織となって継続的に取り組むことができます。そのことにより、これまで進めてきた学校と地域とのつながりをさらに強固に、一体的に深めることができます。

▲地域のかたの協力で行われた田植え体験

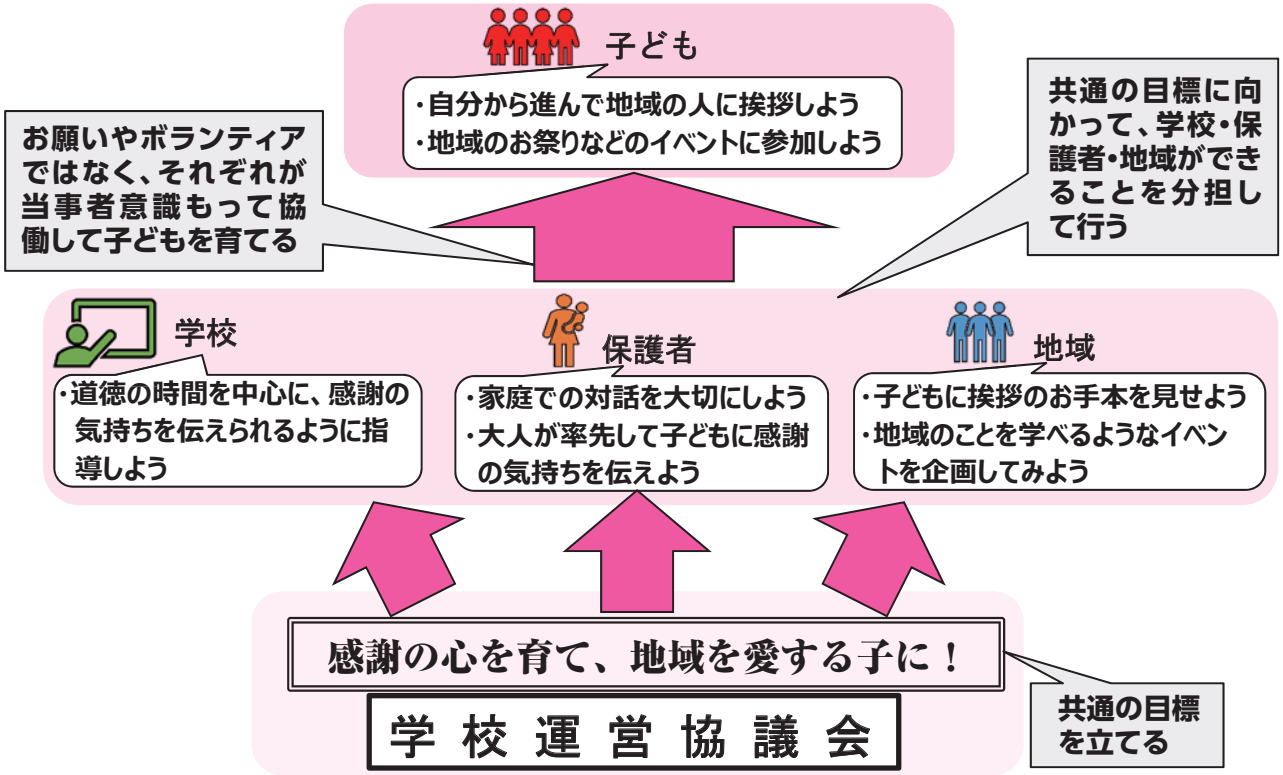
コミュニティ・スクールに必要なこと

コミュニティ・スクールの真髄は、地域全体が子どもたちの育ちの場となることです。これまでも学校と地域は、授業援助、環境整備、登下校時の見守り活動など、さまざまな場面で協働活動を進めており、保護者や地域のかたが、学校の取組や子どもたちに直接関わる機会も増えています。

そのような中、学校と地域がそれぞれ異なった目標に向かい、自分たちの目標とは直接関係のない活動と捉えてしまうと、一方が他方に「お願い」をし、それに対して「支援する」という関係になってしまうことがあります。

そのような関係にならないように、学校と地域とが同じ立場に立ち、「地域の子どもたちがどのように育ってほしいか」、「どうすればより良い教育環境が生まれるか」という視点で共通の目標をもち、子どもたちの育ちを「じぶんごと」として考えていくことが必要です。

コミュニティ・スクールの仕組み（例）



魅力あふれる　コミュニティ・スクール

子どもにとっての魅力

- ●学びや体験活動が充実する
- ●自己肯定感や思いやりの心が育つ
- ●地域の担い手としての自覚が高まる
- ●防犯・防災などの対策による安心・安全な生活が送れる

地域のかたにとっての魅力

- ●生きがいや自己有用感につながる
- ●学校が地域のよりどころとなる
- ●学校を中心とした地域ネットワークが形成される
- ●地域の防犯・防災体制などの構築ができる

保護者のかたにとっての魅力

- ●学校や地域に対する理解が深まる
- ●地域の中で子どもたちが育てられている安心感がある
- ●保護者のかた同士や地域のかたがたとの人間関係が構築できる

教職員にとっての魅力

- ●地域のかたの理解や協力を得た学校運営が実現する
- ●地域の人材を生かした教育活動が充実する
- ●地域の協力によって子どもと向き合う時間が確保できる

コミュニティ・スクールへの想い

市内で初めてコミュニティ・スクールになった二上小学校。そのコミュニティ・スクールへの想いと魅力について、吉田校長と、市の教育行政に長年携わってこられた二上小学校学校運営協議会船木会長にお話を伺いました。

二上小学校
吉田校長

地域と学校、お願いするのではなく共に子どもを育てる学校へ

近年、子どもを取り巻く環境が複雑化する中、学校だけで決めたことを、保護者や地域のかたに理解してもらうことが難しくなってきています。

そこで大事なのは、学校と地域のコミュニケーションです。二上小学校では、学校運営協議会を通じて学校・地域・保護者の意思疎通が可能となり、学校の課題の解決を共に行うことができるようになりました。昨年、子どもの安全を考え通学路のルートを変更した際も、学校運営協議会に相談することで地域のかたの理解がスムーズに得られ、課題を解決することができました。ほかにも、教員だけでは難しい農業体験や、登下校時の見守り活動など、さまざまな場面で協力をいただいています。地域のかたが学校の課題を理解し、当事者意識をもって解決に携わってくれているおかげで、教員が子どもたちと向き合う時間が確保できています。

今後も、どちらかがどちらかにお願いをするという関係ではなく、互いに当事者意識をもって子どもたちを育てていければと思います。

二上小学校 学校運営協議会
船木会長

地域全体が学校を支える雰囲気になれば

平成2年から二上小学校育友会の活動を通じて、学校・地域・保護者と関わり合いのある活動をしてきました。当時は学校との協働活動が活発で、住民皆さんで学校を支えようとする雰囲気の地域でしたが、時代の変化とともに、学校と地域だけでなく、住民同士のつながりも薄くなってきたように感じていました。

そんな最中、地域と共にある学校づくりを目指す「二上コミュニティ」の活動が始まり、この組織を核として二上小学校コミュニティ・スクールが発足しました。最近では、先生が教育の本質である「教える」ことに専念できるように何ができるだろうと考え、一緒に学校を盛り立てようとする雰囲気が戻ってきたように感じます。

また、コミュニティ・スクールが住民同士のコミュニケーションの場としても機能していて、地域の活性化にもつながっていると思います。

まだまだ地域によって考え方には温度差があります。今までの自分の経験を生かして、根気よく地域と学校の連携を進めていきたいと思います。

「地域と共にある学校」を実現するために

コミュニティ・スクールを推進することは、学校・家庭・地域が育てたい子どもの姿やそれぞれの課題、負担や役割などを理解し、地域ぐるみで子どもを育てる気運が高まることから、教職員が心にゆとりをもち、子どもとじっくり向き合うことができる環境が整うことにつながります。

近年、学校の先生が担う業務は年々増大しており、長時間勤務が常態化し、子どもと向き合う時間が十分に確保できないような状況が生まれています。

そのような中、本市の子どもたちに、質の高い学校教育を推進していくためには、本来の業務である授業や児童生徒の指導に専念できる環境を整えることが急務であり、本市では教職員の働き方改革を進めているところです。

保護者・地域のかたにおかれましても、子どもたちの充実した学校生活のために、学校の応援団から、学校のパートナー、相棒となって香芝の子どもたちを支えていただきますよう、ご理解・ご協力をよろしくお願いします。

第5回中学生議会
未来を担う若者たちの提言

◆問合先　市役所教育総務課　☎44－3328

8月20日（火）、「第5回中学生議会」を開催し、市内4中学校を代表して計12名の生徒が参加しました。未来を担う生徒たちは、日ごろ疑問に感じていること、まちづくりについて考えていることなど、さまざまな視点から質問や提言を行いました。

高齢者の免許返納について

香芝中学校
小坂　仁夢議員

Q　高齢のかたに免許を返納してもらうために行っている取組はありますか。

A　高齢者に運転免許証の自主返納を促すために、高齢者運転免許自主返納制度があります。これは返納により交付される運転経歴証明書を提示することで事業者から割引サービスを受けるものです。

この制度を紹介するとともに、免許返納をしやすくするためにも、市のコミュニティバスやデマンド交通の利用・活用についてお知らせしていくことも必要と考えています。

災害時の避難体制について

香芝東中学校
溝端　友太議員

Q　携帯電話を持たず情報を受け取れない人への支援はどうされていますか。

A　市からは「避難」に関する情報をホームページや携帯電話へのメールのほか、屋外に設置している防災スピーカーによる放送、市職員や消防団による巡回を行っています。

また、自身で身動きが取れないかたや高齢のかたで災害時の避難行動を希望されるかたを避難行動要支援者として名簿を作成し、それを基に地域の方でも避難活動していただけるように努めています。

安心と安全について

香芝北中学校
吉見　翼議員

Q　モナミホールと総合体育館について、今後耐震工事は行わないのですか。

A　モナミホールの今後の対応について、耐震工事や近隣施設の広域的な利用方法などをはじめ、さまざまな角度から検討などを行う必要があり、関係部局と調整しているところです。

また、総合体育館については、耐震・長寿命化の工事を行う予定をしており、設計作業も終わりましたので、来年には工事にとりかかるようにしたいと考えています。

インターネットトラブルに対する防犯意識について

香芝中学校
澤　彩佳議員

Q インターネットトラブルを防ぐためにどのような取組を行っていますか。

A 本市の消費生活センターの取組として、広報紙やホームページなどで消費生活のトラブル事例を紹介したり、市民向けの出前講座や講習会を実施したりしています。公共施設においてもパネル展示を通じて市民への注意喚起や啓発を行っています。

また、消費生活相談窓口では個別相談やアドバイスなどを行っています。

ごみの減量化とリサイクルについて

香芝西中学校
江藤　寛陸議員

Q 市ではリサイクルに関してどのような取組を行っているのですか。

A 現在１３品目の分別収集を行っており、そのうちペットボトルなどの１０品目の再資源として活用できるものについては、資源ごみの収集日を設けて回収しています。また、電動生ごみ処理機の購入に対する助成や、ダンボール箱や新聞紙などの資源ごみを回収するＰＴＡなどの団体に対しても助成を行うことにより、ごみの減量化と資源化に取り組んでいます。

子どもの安全対策について

香芝中学校
大城　志琉議員

Q 子どもと車の交通事故が多発していますが、市はどのような対策をしていますか。

A 保育所・幼稚園・認定こども園では、園外へ行く時は「園外保育確認表」に基づいて、事前に往復経路や現地での危険箇所などの確認を行っています。また最近の交通事故を受けて、今まで散歩に行っていた場所までの道路の幅、車の交通量、車が来たときの待機場所の有無など、保育士が実際に歩いて確認し、少しでも危険と思われた場所は経路や場所の変更などを行っています。

快適で安全に使える歩道の整備について

香芝東中学校
神戸　颯斗議員

Q 薄暗く、不審者情報もある歩道について何か対策はされていますか。

A 市内の歩道において、緑が豊かである反面、枝が茂ると日当たりが悪くなり、見通しが悪くなる場所もあります。そのため市では、定期的な剪定や大規模な枝打ちを行い、また木の根が舗装やブロックを押し上げているところについては修繕などを行い、道路の安全性向上に努めています。もしほかにも、道路の危険な箇所などを見つけられた場合にはお知らせください。

地域の活性化について

香芝東中学校
平井　悠登議員

Q 市の観光スポットにコミュニティバスを利用して気軽に行けるような工夫をしてほしいです。

A コミュニティバスは駅などから遠い場所にお住まいのかたや、自家用車を利用されないかたなどの交通手段の確保を目的としています。このため観光スポットへのアクセスを良くするための増便は予定していませんが、近くにバス停があればアクセスとして紹介することはできると思いますので、今後検討していきたいと考えております。

香芝市の歴史・昔話について

香芝北中学校
辻本　梨琴議員

Q 香芝市の文化や歴史を知ってもらう企画を行うことを提案します。

A 現在実施している「香芝検定」では実行委員会が中心となって香芝市の文化や歴史についての問題を出題し、本市を深く知ってもらう活動を行っています。また、小・中学校でも検定を実施し、多くの児童や生徒に受験してもらっています。そのほかにも、歴史・文化に触れる講座や検定ウォークなどを行い、香芝市を知る機会の拡大に努めていきます。

下水道について

香芝西中学校
田中　明璃議員

Q 浄化槽を下水道に変えることのメリットとデメリットを教えてください。

A メリットとして、浄化槽の維持管理に必要な法定点検や清掃などの手間がなくなることと、公共下水道に接続することで直接下水道管に生活排水が通って、処理場に流れるため、悪臭や水路や河川の汚れが発生しないことによる生活環境の改善が挙げられます。デメリットとして接続にあたり工事費用がかかります。

中学校給食について

香芝北中学校
柳　花瑠議員

Q 実際に生徒が考えた献立で給食コンテストを行い、優勝した献立を再現するのはどうですか。

A コンテストについてはとてもいいアイデアであり、食を通じて学んだことを形にする食育の醍醐味だと思います。

給食は生徒に必要な栄養価を考えられて作られた大切な食事であり、献立を考えるにあたり栄養に関する厳しい基準や、調理時間や限られた調理方法もあるため、時期や方法も踏まえ前向きに検討いたします。

スクールカウンセラーについて

香芝西中学校
中嶋　彩乃議員

Q スクールカウンセラーの相談枠をもっと取れるようにしてほしいです。

A 現在スクールカウンセラーとの相談が順番待ちになることも聞いているため、今後は配置人数や配当時間の拡大に向けて努力していきます。

また、学校において一番生徒と身近に接するのは教師であることから生徒のさまざまな悩みに対応し、心の支えとなれるような高い専門性と資質を身につけた教職員の育成に努めてまいります。

中学生議員の感想（一部）

- 自分の発言で香芝市が変わる場にいると考えると、責任を感じました。香芝市をより良くするためには、どうすれば良いのかを考え、それを市職員のかたと議論するのは、とてもいい経験で、自分たちが住んでいる街について深く知ることができました。
- 今回の議会で学んだことを、学校で発信し、地域全体で協力していこうと思いました。また自分たちのまわりにある当たり前も皆さんの努力があってのものだと思うので、私たちもその恩返しに、香芝市を魅力たっぷりの素晴らしい場所にしていかないといけないと感じました。
- 私たちが住んでいるこの住みよい街は、どのような人が働き、どのような手順を踏んでできているのかを身をもって体験することができました。
- 私たち中学生が質問した内容が、今後の香芝市の発展につながれば良いと思います。

議事進行を行った議長の皆さん

今回の中学生議会は、香芝高校の生徒会の４人が交代で議長役を務めました。議会を終えた高校生にも感想を聞いてみました。

- 中学生なのに立派な意見を述べることができていて感心しました。（木村議長）
- 中学生が自分が当時の中学生のころでは考えられないほどに、しっかりとした意見を持っていて、議長席で議事を進行しながら震撼しました。（田中議長）
- 高校生活の中で貴重な体験ができました。（若杉議長）
- いかに議会に携わるかたがたが市政執行にご尽力されているかを知ることができて、非常に良い経験となりました。（寺平議長）

左から順に、木村優太議長、田中大志議長、若杉海空議長、寺平陽登議長

ちいさな命に待ったなし！
児童虐待を防ぐ！

１１月は児童虐待防止推進月間の巻

オレンジリボンには
子ども虐待を防止するという
メッセージが込められています。

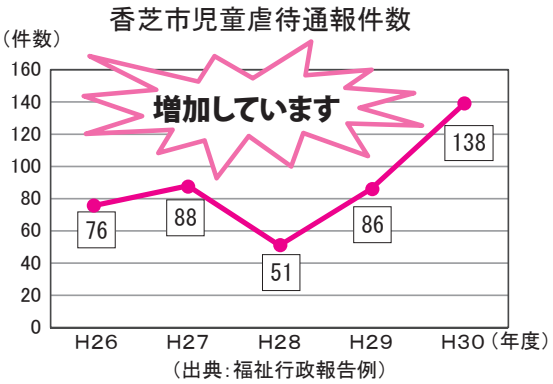
◆問合先　総合福祉センター児童福祉課
☎７９－７５２２

増える児童虐待

虐待によって幼い子どもの命が奪われてしまうという痛ましいニュースを耳にします。厚生労働省によると、児童相談所に寄せられる児童虐待の相談件数についても、年々増え続けており、平成30年度に奈良県の児童相談所が対応した相談件数は、前年度と比べて１．２３倍の１，８２５件となっています。

本市でも児童虐待の通報件数は増加しており、平成30年度には１３８件寄せられています。

今回、11月が児童虐待防止推進月間であることから、児童虐待について紹介するとともに、どのようにして大切な子どもの命を守っていくかについて考えます。



（出典：福祉行政報告例）

知っていますか？児童虐待

厚生労働省によると、児童虐待は次の４種類に分類されています。

【身体的虐待】
殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、家の外に締め出すなど

【性的虐待】
子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にするなど

【ネグレクト】
乳幼児を家に残して外出する、食事を与えない、ひどく不清潔なままにする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない、ほかの人が子どもに暴力を振るうことなどを放置するなど

【心理的虐待】
言葉により脅かす、無視する、きょうだい間で差別的な扱いをする、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう（ＤＶ）など

現代の子育て環境は、核家族化や地域から孤立している家族が多くなっており、家庭で保護者がひとりで子どもと向き合い、相談相手もいないまま、育児ストレスを抱えている家庭が増加していると言われています。

保護者のストレスのはけ口として子どもに暴力や暴言をあびせたり、子育てに熱心なあまり、厳しすぎるしつけを行ったり、経済的に苦しく、昼夜を問わず働いた結果、子どもを放置した状態になったりしていることもあります。こういった場合、多くの保護者は、「自分が虐待している」とは気づいていません。

虐待は、特別な家族の問題ではなく、どの家庭でも起こり得るものとして、捉える必要があります。

保護者だけでなく地域で見守る

児童虐待は、保護者だけの問題ではありません。地域で心地よく、信頼しあうことができる居場所を増やして、子育てがしやすい環境を地域全体で作っていくことが大切です。

「何かおかしいな」「いつもと様子が違うな」といった子ども・保護者のサインをキャッチすることもその一つです。もし、虐待と思われる事実を知ったときは、市や児童相談所に通報してください。

また、子どもや保護者も、身近に相談する人がいなくて悩みをひとりで抱え込んで苦しんでいるのかもしれません。子育て中の親子に優しいまなざしを向けてあげたり、身近な人からの温かいひと声が心の支えになることがあります。

見落とさないで

子どもと保護者のサイン

子どものサイン

・いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴り声がする
・不自然な傷や打撲のあとがある
・衣類やからだがいつも汚れている
・夜遅くまで一人で家の外にいる　など

保護者のサイン

・地域などと交流が少なく孤立している
・小さい子どもを家においたまま外出している
・子育てに関して拒否的・無関心である
・子どものけがについて不自然な説明をする
など

子どもを健やかに育むために

愛の鞭（ムチ）ゼロ作戦

子育てにおいて、しつけと称して叩いたり怒鳴ったりすることは、子どもの成長の助けにならないばかりか、悪影響を及ぼしてしまう可能性があります。以下の５つのポイントを心がけながら、子どもに向き合いましょう。

子育てに体罰や暴言を使わない

体罰や暴言によって得られた子どもの姿は叩かれた恐怖によって行動した姿です。

子どもにとって大人から叩かれることはとても怖いことであり、ちょっと叩かれただけ、怒鳴られただけでも、心に大きなダメージを受けることがあります。「叩かない怒鳴らない」と心に決めましょう（＊１）。

子どもが親に恐怖を抱くとＳＯＳを伝えられない

子どもが親に恐怖感を抱いてしまうと、親に気に入られるように、親の顔色を見て行動するようになります。また、親に対しては、子どもが心配事を打ち明けられなくなります。

子どもが親にＳＯＳを伝えられないと、いじめや非行など、さらなる問題に発展してしまう可能性もあります。

爆発寸前のイライラをクールダウン

子どもが言う事を聞いてくれないときにイライラすることは誰にでもあること。普段から疲れていて、もともと抱えているストレスが大きいと、子どものちょっとした行動をきっかけにそのイライラが爆発してしまうことがあります。

イライラが爆発する前に、深呼吸をするなど、クールダウンするための自分なりの方法を見つけておきましょう。

親自身がＳＯＳを出そう

育児の負担を抱え込まずに、家族での分担や、自治体やＮＰＯ、企業などのさまざまな支援サービスの利用を検討してみましょう。子育ての苦労について、気軽に相談できる友達や身近な人がいることも支えになります。

子どもの気持ちと行動を分けて考え育ちを応援

子どもに「イヤだ」と言われたとき、親自身も戸惑うこともあるでしょう。しかし、それは子どもの「自我」の芽生えであり、成長の証しでもあります。

子どもの成長過程で必ず通る道だとおおらかに構えて子どもの意思を後押ししましょう。

＊１　令和２年４月１日より児童虐待の防止等に関する法律が改正されることにより、親権者が子どものしつけに際して体罰を加えてはならないことが明文化されます。

虐待を受けたと思われる子どもがいたら　自身が出産や子育てで悩んだら　子育てに悩む親がいたら

児童相談所
全国共通３桁
ダイヤル

いち　はや　く
１８９
（２４時間体制）

あなたの１本の電話で救われる子どもがいます。児童虐待かもと思ったら、すぐに電話ください。（通話料がかかります。）

令和元年度の児童虐待防止推進月間の標語
「いちはやく　ちいさな命に待ったなし」

「香芝市総合防災マップ」協働発行に関する協定

9／24（火）　市役所

奈良県において洪水や土砂災害の危険区域の見直しが行われたことや、防災情報の伝え方の全国的な変更が行われたことなどを契機に、新たなハザードマップや防災に関する情報を掲載した「香芝市総合防災マップ（改訂版）」を、株式会社ゼンリンと協働で発行するため協定の締結を行いました。

戦没者追悼式

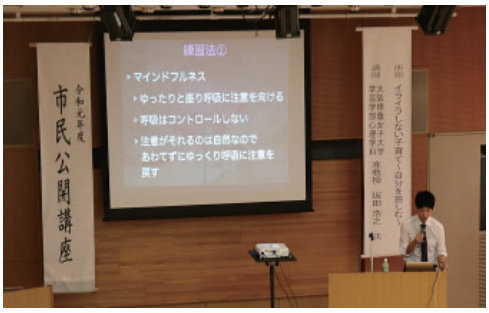
9／7（土）　ふたかみ文化センター

戦後７４年が経過し、戦没者に謹んで哀悼の意を表し、戦争の悲惨さと平和への誓いを新たに心に刻むため、香芝市戦没者追悼式を執り行いました。

式は厳かに進められ、来賓による追悼のことばの後、参列者は改めて慰霊と感謝の意をささげるため１人ずつ献花していきました。

市民公開講座 子育て・親育て・自分育てⅡ

10／1（火）　総合福祉センター



今年度１回目のテーマは「イライラしない子育て～自分を慈しむ～」でした。講師より、子育てでイライラを感じてしまったときに、自分を批判・軽蔑するのをやめて、自分を慈しむことの大切さ、慈しむための練習方法について講義があり、参加者は真剣に聞き入っていました。

国際理解セミナー

9／14（土）　ふたかみ文化センター

国際理解セミナーでは、ネパール出身の講師が、人を助けることで自分も幸せになれる「プレジャーシェア」について紹介しました。貧しかった子どものころに日本人の支援を受けて学校に通った経験から、現在同じ境遇の子どもを支援している講師の話を、参加者は興味をもって聞いていました。

敬老会

9／16（月・祝）　総合福祉センター

今年の敬老会では、大衆演劇の公演をはじめ、簡単料理教室、軽スポーツ体験などの趣向を凝らしたさまざまな催しを行い、迎えた敬老の日をお祝いしました。記念講演では、認知症予防の講演以外に大道芸も行われ、その見事なパフォーマンスに子どもも大人も魅せられ、拍手が巻き起こりました。

市民ペンリレー ◆433

人と人との繋がり

中森　秀平さん

香芝市に新居を構えて早10年。私の職場が大阪市内、実家が愛知県だったためにどちらにもアクセスの良い香芝市で住居を構える事としました。新居を構える前は社宅に住んでいたため、同世代家族が多く共通の話題もありましたが、見知らぬ地での生活をスタートするにあたり心配もありました。

移住当時に2歳だったひとり娘も今や中学生。ご近所さんに同学年の娘さんがいらっしゃるご家庭が多く、引っ越し直後から大変良くしていただきました。また娘が小学3年生になる頃にはスポーツ少年団にも入団し、旭ケ丘ならびに志都美小学校の先輩、同学年、後輩とお友達の数もグッと増えました。スポ少活動に微力ながら参加してきた私も多くの子どもたちと触れ合う機会が出来ましたし、保護者のかたがた、スポ少活動を過去から支えて来られたOB、OG指導者の皆さま、更には同じスポーツ活動に従事する全国各地の関係者のかたがたとも知り合う事ができました。その数ゆうに100名以上、まさか30歳を過ぎてからこんなに知り合いが増えるとは思ってもみませんでした。

子育ての悩みから美味しい近隣店舗の情報もそんな皆さまから教えていただく毎日です。これからも色んな人との繋がりに感謝しながら、香芝市生活を満喫したいと思います。

次回は硯さんにリレーします。

香芝検定のこたえ　④６０人

合併当時は６０人でした。その後、昭和３２年に２５人、昭和４０年に２０人、平成２１年に１８人になり、平成２５年から１６人になりました。

広報かしば９月号　補足

広報かしば９月号Ｎｏ．６２７（令和元年９月２４日発行）６ページに掲載している「簡単水だし」の《作り方》に一部補足がありましたので、お知らせします。
（色付けの部分が補足箇所）

《作り方》

①ペットボトルに全ての材料を入れて、冷蔵庫内で一晩おく。
②①を茶こしでこす。
（冷蔵保存約３日間）
③沸騰するまで煮沸してから使用する。

◆**問合先**　保健センター
☎７７－３９６５

パパッと簡単クッキング！ No.55

ミネラルたっぷりのひじきを使ったサラダです！

ひじきのサラダ

（１人分　１０ｋｃａｌ）

【材料（２人分）】

ひじき（乾燥）･･･５ｇ　　しょうゆ･･･小さじ１／３
にんじん･･１０ｇ　　きゅうり･･･３０ｇ
マヨネーズ･･･小さじ１
練りわさび（チューブ）･･･１ｃｍ

【作り方】

①ひじきは洗って、水につけて戻す。（１０分程度）さっとゆがき、しょうゆ小さじ１／３をかける。
②にんじん・きゅうりを長さ３ｃｍのななめ薄切りにして、はしから２ｍｍ角の千切りにして塩（分量外）をもみ込み、軽くしぼる。
③ボウルにマヨネーズと練りわさびを合わせ、①②を混ぜてできあがり☆

＊レシピ協力：食のサポーターかしば

食のサポーターかしばは、より良い食生活を自ら実践し、住民に広めていくために料理講習会などの活動をしているボランティア団体です。

いにしえ 古のかしばへタイムスリップ
今昔アルバム

現在の様子

大坂山口神社（穴虫）

昭和４３年
（１９６８年）

坪内さん(今泉)提供写真

時代の流れとともに移り変わるまち並みや、時を超えて受け継がれてきた変わらぬ風景など、古い写真を随時募集しています。皆さまのご提供をお待ちしています。
詳しくは、市役所秘書広報課まで問い合わせください。
☎76―2001（内線304）

発行／香芝市役所　編集／秘書広報課　〒639-0292 香芝市本町1397番地　☎0745(76)2001　FAX 0745(78)3830
✉ info@city.kashiba.lg.jp　★市ホームページ(http://www.city.kashiba.lg.jp/)でも広報かしばをご覧になれます。

広告

広告

広告

広告

＊広告及び広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。また広告主である事業者及びその内容について市が推奨等をするものではありません。
＊広告掲載の申込みや問い合わせは、大光宣伝株式会社（0120-540-888）へ

環境保全への取り組みを奨励し、環境にやさしい「大豆油インキ」を使用しています。
PRINTED WITH SOY INK